

備前市事務事業評価表

事務事業名	特定地域活性化事業		コード	06-01-10-01
			担当課・係	企画課 企画振興係
			担当者	青木弘行
			電話	64-1871
事業実施期間	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり		
総合計画 事業(政策)体系	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営		
	小項目(施策)	その他事務管理		

事業について	
目的 (何のために)	過疎地域については、過疎計画に基づき総合的かつ計画的な対策を実施し、自立促進を図ることで地域間格差を是正する。離島については、地理的及び自然的特性や固有の資源を活かした振興を図ることで本土との格差是正を図る。電源地域については、関係市町村との連携により情報交換を進め地域活性化を図る。中山間地域については、地勢等の条件に恵まれない中山間地域の問題解決を県と中山間地域市町村が連携して地域活性化を図る。
対象 (誰・何を対象に)	地勢等条件不利地域で生活する住民
内容	過疎自立促進市町村計画の進捗状況の把握を行った。岡山県過疎地域対策協議会に負担金を納めた。離島振興計画のフォローアップを行った。また、岡山県離島振興協議会会議等に参加し、負担金を納めた。中国電源地域市町村振興協議会へ負担金を納めた。岡山県中山間地域県・市町村連携協議会に参加し、関係市町村と課題認識、情報交換等を行った。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業の結果			
実施項目	17年度 (単位)	18年度 (単位)	回数など (単位)
会議等参加回数	4回	4回	
負担金支払い団体	3団体	3団体	
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費
	994	738	738
	人件費 2,870	人件費 1,634	人件費
	合計 3,864	合計 2,372	合計 0

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

必要人員	0.25人	0.19人	
結果指標	結果指標名	結果指標量	対前年比
	会議等参加回数	4	100.00%
	活動にかかるコスト	3,864,000円	0.00%
	単位当たりコスト	966,000円	

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果					
どのような成果を得ようとしているか	各計画の評価と進捗状況を把握することで地域間格差を是正と本土との是正を図る。また協議会に参加することで課題解決を図り、まちの活性化を図る。				
成果指標名	会議等参加回数				
式又は説明	当市の意見・要望を直接伝えることができ、また関係市町村と情報交換することで、問題解決が図られやすくなる。				
成果指標量	17年度 4	18年度 4	対前年比 100.00%	到達目標年度	毎年度
到達目標値	7				

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 対象の妥当性 <input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である 市民ニーズの妥当性 <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である 市の関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	妥当性評価<A~E> C 課題認識 特定地域の活性化については、本市だけでは解決できないこともあるため、協議会を通じて国県等に要望を行っています。
効率性の評価	コストの効率化 <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である 手段の最適化 <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	効率性評価<A~E> C 課題認識 各種協議会を活用し、必要性の低い協議会については脱会も検討していく
有効性の評価	目的達成度 <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している 成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある 市民参画度 <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> C 課題認識 必要性・有効性のある計画の見直しを行っていく。また、協議会の主催する研修会等には積極的に参加し、先進地の取組事例を参考に特定地域の活性化対策を検討していく。

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	過疎、離島計画の進捗状況把握等と各協議会会議への出席と負担金の納付
目標値	結果指標量	結果指標量	

総合評価	過疎及び離島地域については、計画実施の評価や進捗状況の把握に努めていく。また、本年度立ち上がった、岡山県中山間地域県・市町村連携協議会では関係市町村との情報交換、研修会等を利用して中山間地域における活性化策を検討していく。	評価区分 <A~E> C
------	---	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	各種事業計画の見直しと進捗状況の管理	毎年度	事業費の削減
有効性	研修会等への参加	毎年度	活性化対策を見出す